



平成 26 年 8 月 18 日

各 位

会 社 名 ダイードリンク株式会社  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也  
(コード番号：2590 東証第1部)  
問 い 合 わ せ 先 執行役員 コーポレートコミュニケーション本部長  
長谷川 直和  
電 話 番 号 06 - 6222 - 2621

## 平成 27 年 1 月期 第 2 四半期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 26 年 3 月 3 日の決算発表時に公表した平成 27 年 1 月期第 2 四半期（平成 26 年 1 月 21 日～平成 26 年 7 月 20 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 27 年 1 月期 第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 21 日～平成 26 年 7 月 20 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 76,500	百万円 1,000	百万円 900	百万円 500	円 銭 30 18
今回修正予想(B)	75,760	2,470	2,380	1,170	70 62
増減額(B-A)	△ 740	1,470	1,480	670	—
増減率(%)	△ 1.0	147.0	164.4	134.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 26 年 1 月期第2四半期)	77,650	2,748	2,794	1,711	103 31

## 2. 修正の理由

当社は消費税率の変更に伴い、政府方針や一般社団法人全国清涼飲料工業会の基本方針に従い、当社商品への適正な価格転嫁を行っております。自動販売機商品につきましては、基本的に販売価格を10円単位で見直し、自販機事業全体で増税分の適正な転嫁を行いました。

売上高は前年7月の猛暑の反動減等の要因により計画をやや下回りましたが、自販機における販売価格改定が期初の想定よりも順調に進捗したこと、計画を上回る売上総利益率となったことや上期に計画していた自販機展開にかかる経費予算が下期へ繰り越しとなったことなどから、第2四半期連結累計期間につきましては、前回予想値よりも利益が増加する見込みであります。

なお、消費増税による個人消費の動向は、依然として不透明な状況にあり、現時点において通期業績への影響を見極めることは困難であることから、平成26年3月3日に公表した通期業績予想に変更はありません。

(ご参考) 平成27年1月期 通期連結業績予想数値 (平成26年3月3日公表)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	155,000	5,200	5,000	3,000	181 08
(ご参考)前期実績 (平成26年1月期)	154,828	6,004	5,962	3,712	224 08

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上